



(参考仮訳)

プレスリリース No. 11/395
即時解禁
2011年11月4日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事による、 G20 カンヌサミットに関する声明

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、フランス・カンヌでの 20 ヶ国グループの首脳会議の終了後、以下の声明を発表した。

「我々は『成長と雇用のためのカンヌ行動計画』、並びに IMF の、加盟国への支援及び一段と持続的な世界経済の促進のための取り組みを支える方策など、本サミットで発表された諸措置を歓迎する。世界経済が一段と不確実な局面に入ったなか、G20 各国首脳は、我々は総じて困難な政策的課題を抱えているとの認識を示した。なすべきことは山積しているものの、カンヌで 2 日間に渡り行われた活発な協議により、万人の利益に関する事項について、合意が可能であることが明らかとなった。

G20 首脳は、10 月 26 日にユーロ圏首脳会議が示した、同地域が直面している危機に対処するための包括的枠組みの構築に向けた施策の、早急な実施が重要であることを改めて指摘した。G20 のユーロ圏各国首脳は、その決意を改めて表明した。このような中での、イタリアによる、IMF のサーベイランスおよびモニタリング活動の強化の要請の決定を歓迎する。我々のこれら活動は、同国政府が財政調整および構造改革のために進めている重要な措置を支えることになる。

加えて、以下に述べる 3 分野での IMF の役割の強化に対する、各国首脳の支援に勇気付けられた。

- 第一に、G20 が、IMF が、加盟国の利益のため、そのシステミックな役割を全うするにあたり十分な財源を、引き続き確保できるようコミットしたことを歓迎する。

- 第二に、IMFの加盟国による危機への対処を支えるべく、IMFの融資手段の強化に向けて講じた数々の措置を基に、私は、新たな予防的流動性枠（Precautionary and Liquidity Line : PLL）の導入に向け、IMF理事会と遅滞なく協力を進めていく。同制度は、システミックなショックに直面している強力な政策およびファンダメンタルズを有する国々に対し、より大規模な短期流動性をより柔軟に提供するものである。
- 第三に、G20は、IMFのサーベイランスの一層の強化の重要性を強調した。これに関連し、我々は、サーベイランスのオーナーシップ、影響力、および有効性の向上を目標に、サーベイランスのあらゆる側面を取り纏めた決定に関する提言を、来年初めに作成する予定である。

また、G20は、より安定的かつ頑健な国際通貨制度の確立に向け大きく前進した。すなわち、G20各国首脳は「資本フロー管理に関する一貫した決定（*Coherent Conclusions for the Management of Capital Flows*）」、並びに、国際通貨制度の一層の多様化という目標と合致した、特別引出権（SDR）バスケットの拡大に向けた措置に合意した。

各国首脳が、金融規制の強化に引き続き努めるという点で合意に至ったことも非常に重要である。回復に必要な資金を供給し、雇用創出など実体経済のニーズを満たす上で必要な与信を行うには、より健全かつ安全な金融部門が不可欠である。

最後に『成長と雇用のためのカンヌ行動計画』で具現化された多国間協力の精神と、その早急の実現の重要性をここで再び強調したい。高失業率という問題と適切なソーシャル・セーフティ・ネットの構築は喫緊の課題である。IMFは、マクロ経済政策と社会問題の相互作用の問題を優先課題とし、ILOとの連携などを通しこれに関する作業の強化にコミットしている。

我々は今重要な局面にある。G20の相互評価プロセスをサポートするIMFの分析によると、適切な連携により、世界のGDPは2016年までに1.5%上昇し、2,000万から4,000万の雇用が新たに創出される可能性があるのだ」